

令和 6 年度 (上期・下期) 助成事業報告書

団体名	葉山悠介	設立年月	年 月
		団体人数	1 人
事業名	パフォーマンスツアー 「孤独が深みなるたびに」		
実施日時 ・ 会場	① 1 0 月 2 日～ 5 日 フランス・パリで熊本産のシャツブランド、古美術とのコラボレーション公演 @ESPACE Japon(12 Rue de Nancy, 75010 Paris, フランス) ② 1 0 月 2 4 日あさぎり中学校芸術鑑賞会@あさぎり町須恵文化ホール ③ 1 1 月 2 ～ 3 日暮らしとアート市 in 熊本『紅い野バラと乳白色の猫』2024 Page4 @カリノ MS ビル (熊本県熊本市中央区魚屋町 2-1) ④ 1 1 月 1 5 日～ 1 6 日 主催公演 孤独も深みになるたびに @ラフカディオホール (熊本県熊本市中央区安政町5-26 6F)	参加人数	589名
活動内容・活動成果			
別紙に記載			

令和6年度下期助成事業報告書

氏名 葉山悠介

事業名 パフォーマンスツアー 「孤独が深みなるたびに」

活動内容

ダンス劇「孤独も深みになるたびに」を創作。孤独、日常、旅などをテーマにした作品群で構成されるため、その汎用性を活かし国内外で発表する。SUPERONLYを主宰し、和楽器×ダンス「つながるわとわ」などの舞台公演、地域活性化のためのイベントのプロデュース、熊本県芸術文化祭などの振付、講師活動を展開する葉山悠介が国内外で披露するパフォーマンスツアー。11月15,16日に開催する主催公演を主な事業とし、フランスでのパフォーマンス、将来の演劇祭参加に向けた劇場視察、映像作品の撮影、熊本県内での中学生に向けた公演、アート展に出展し、様々な表現方法に挑戦する。複雑かつ多様化する生きづらさを抱える社会に「孤独や辛さもいつか人生の深みになる」というメッセージとともに、日常に光がさすような鑑賞体験を届ける。本事業のために書き下ろしたオリジナルの脚本に合わせた楽曲を15曲作成し、孤独、日常、旅などをテーマにした短編作品の組み合わせで構成される汎用性を活かし、演奏時間や企画内容に合わせて構成を入れ替え、国内外で発表する。言語表現を最小限にした身体表現だからこそできるシンプルかつドラマティックなパフォーマンスで、年齢も国境も超えて感動がつながる国際的ツアー公演を開催する。「舞台芸術の新たな価値の創造」「熊本から世界に挑むコンテンツや人材の育成」をテーマに、これまでの創作活動で得たノウハウを活かし、様々な表現方法や観客層へのアプローチに挑戦をすることで、舞台芸術の価値を高め、魅力を発信し熊本の文化芸術をさらに盛り上げる人材の育成や環境づくりにつながる事業としたい。

活動成果

①10月2日～5日 フランス・パリで熊本産のシャツブランド、古美術とのコラボレーション公演 @ESPACE JAPON(12 RUE DE NANCY, 75010 PARIS, フランス)

フランス・パリでは、約40名の観客の前でダンスを披露。衣装を作成する熊本のシャツブランドgogakuと共同し、シャツの機能性、日本から海外への挑戦をテーマにパフォーマンスを実施。また創作獅子舞を披露し、日本の伝統文化や神事に込められた想いを伝え、フランスで日本語を学ぶ学生らと国際交流の機会となった。

フランス・アヴィニオンでは、現地の劇場を視察。実際にパフォーマンスを見たり、その後のディスカッションに参加したりと劇場の支配人やディレクター、プロモーターと交流し、世界三大演劇祭であるアヴィニオン演劇祭の出演に向けて必要な手続きや求められる作品性などを学び、今後の創作の起点となる視察となった。

また二つの都市で、映像を撮影。公演のためのPR映像として、SNSなどに掲載し6200回以上の再生数を記録し、11月15、16日に開催した主催公演の大きなプロモーションとなった。さらに、本事業のために作曲された楽曲を使用した映像作品も現在作成中である。作品のほとんどをフランスで撮影した本作品は来年の公開に向けて準備をしている。

②10月24日あさぎり中学校芸術鑑賞会@あさぎり町須恵文化ホール

ピアノとヴァイオリンによる生演奏でダンスパフォーマンスを披露。

生演奏とダンスによるコラボレーションは一つの表現方法だけでなく、組み合わせることで新しい表現や独創性を生み出せることを伝えることができ、鑑賞した生徒の創造性や発想の幅を広げられる芸術鑑賞となった。

演目の一部である、演劇作品「羽」は、今回のためにアレンジを加え参加型作品とした。劇中で旅をするウサギと鳥の見た草木や風などの自然の情景を上半身のみで表現したり、うさぎ、鳥、月をイメージした振り付けを踊ったりして、鑑賞者も作品の中に入って楽しむ作品を作り上げた。ダンサーによるレクチャータイムが、コミュニケーションの場となり、少しずつ体を動かしやすい空気感を作り、出演者と交流を通じて表現に対する興味を引き出した。生徒からの感想文でも、劇に参加できたことが印象に残り、楽しむことができたなどの感想が多数寄せられた。

③11月2～3日暮らしとアート市 IN 熊本『紅い野バラと乳白色の猫』2024 PAGE4

@カーリーノ MS ビル (熊本県熊本市中央区魚屋町 2-1)

本事業のために作曲された楽曲を使用し、5分～15分程度のパフォーマンスを一日5回程度披露。ピアノとヴァイオリンによる様々な曲調があったため、客層に応じた演目の選択ができ、多くの人に見ていただくことができた。本来は芸

術家や写真家などによる展示がメインのイベントであったため、その中でいかに来場者を惹きつけパフォーマンスを見てもらうかといった表現スキルを高める場となった。音楽家とのコラボレーション、来場者の手拍子などによる即興パフォーマンスなども披露した。パフォーマンス後に来場者や作家との交流があり、イベントや映像作品へのオファーの獲得や新規顧客の開拓につながった。

④11月15日～16日 主催公演「孤独も深みになるたびに」

@ラフカディオホール（熊本県熊本市中央区安政町5-26 6F）

公演初日は、本編楽曲を作曲した鎌田優紀子氏によるピアノと柴田恵奈氏によるヴァイオリンの生演奏で上演。日常をテーマにした作品とステージという非日常空間をつなぐ演出として、太鼓芸能集団袖衣とのコラボレーションで劇中劇を披露した。

事前の広告掲載、新聞取材などの影響やコラボレーションが話題となり、前売り券が完売し、満員となった。

公演最終日の2日目は、収録音源で公演を行い、終演後にトークショーを開催。初日より客席の定員数を減らし、観客との交流、ディスカッションを行った。作品に対する思い、振付の元になった経験などを伝えることができた。ダンスの見方、芸術を楽しむ一つの視点を提供する機会となった。

両日通じて、10代～20代のダンサー4名が公演に出演。発表会やイベントの出演経験はあったが、曲作りから関わる創作活動や舞台出演は初めてだった。創作段階から対話を重ね、作品の解釈を深め、自身のスキルの応用し最適な表現に繋げるための調整などを繰り返し、舞台に立つことで表現者としてのレベルアップにつながり、舞台や文化芸術の将来を担う後進の育成の機会となった。

作中では、舞台美術の大小7つの箱が、机や椅子などの家具、門やビルなどを表す街の様子、視界の狭さや生きづらさなど主人公の心情を表すものなどに変化しながら物語が進む。ダンサーが自ら動かし、シーンを変えながら踊ることで目まぐるしく変わるステージを演出した。中でも、箱が重なりできた壁の裏で観客には直接ダンサーが見えない状態で、照明を当て、影だけが動くシーンは、「孤独の中にも、生き続けることで希望を見出すことができる」という本事業の核となるメッセージを伝えることができ、終演後のアンケートでも「生きていてよかったと思えました」などの感想をもらうことができた。公演の様子は、TKUニュースに取り上げられ、公演後も話題性の高い事業となり、2025年3月には益城町文化会館での再演が決定した。さらに関連企画として公演中に撮影した記録映像、写真を使った写真展を企画するなど、一期間の舞台公演の開催だけにとどまらず、今後の展開を見据えることのできる事業となった。

●事業全体の成果

本事業を実施したことで、独自の楽曲と作品が新たにでき、様々な場所で披露できたことで表現方法が多彩になった。場所や企画内容に応じて自身の作品を披露できる環境が整ったため、国内外での演劇祭、ステージ、イベントなどにも挑戦することができ、今後さらに活動の幅を広げることが可能となった。取材によるメディアの露出も効果的に作用し、イベントやステージへの出演依頼が増加した。本事業を通じて、海外の舞台関係者、たくさんの芸術家、表現者、観客層との交流ができたことも大きな成果となった。新規顧客層の開拓、支援者、協力者が増え、ダンスを軸に様々な舞台芸術と協同する活動を通じ、文化芸術全体への興味関心を広げ、アーティストと社会が繋がりとともに発展していくことを目指し、今後も活動を継続していく。

収支決算書

収入の部

(単位:円)

項	目	単 価	数 量	金 額	摘 要
チケット収入		¥4,000	69	¥276,000	11/15、16の主催公演の一般チケット収入
チケット収入		¥4,500	2	¥9,000	11/15、16の主催公演の当日チケット
チケット収入		¥2,000	8	¥16,000	11/15、16の主催公演のU25チケット
協賛金		¥30,000	4	¥120,000	
芸術鑑賞委託料		¥390,000	1	¥390,000	10/24 (木) の学校公演の委託料の
投げ銭		¥30,000	1	¥30,000	10/2~5の投げ銭
投げ銭		¥40,000	1	¥40,000	11/2~3の暮らしとアート市in熊本
助成金		¥200,000	1	¥200,000	熊本県芸術文化振興会 様
助成金		¥200,000	1	¥200,000	熊本放送文化振興財団 様
助成金		¥100,000	1	¥100,000	公益信託 熊日文化スポーツ基金 様
補助金		¥593,000	1	¥593,000	小規模事業者持続化補助金 (楽曲制作、映像制作)
自己資金		¥541,311	1	¥541,311	
合 計				¥2,515,311	

支出の部

項	目	単 価	数 量	金 額	摘 要
諸謝金等	演奏料 (ピアノ、(ヴァイオリン)	¥60,500	2	¥121,000	11/15 (金) 主催公演、10/24 (木) の学校公演の演奏料
演奏料	(和太鼓)	¥55,000	1	¥55,000	11/15 (金) 主催公演の演奏料
出演料	(ダンサーA)	¥33,000	4	¥132,000	葉山悠介出演料4公演
出演料	(ダンサーB)	¥12,000	4	¥48,000	若手ダンサー4名の出演料
出演料	(俳優)	¥33,000	1	¥33,000	10/24 (木) の学校公演の出演料
出演料	(トークショーMC)	¥33,000	1	¥33,000	11/16 (土) 主催公演のアフタートークイベントMC
作曲料		¥154,000	1	¥154,000	本事業のための楽曲制作費
企画演出料		¥150,000	1	¥150,000	本事業のための企画演出
振付料		¥150,000	1	¥150,000	本事業のための振付制作
広報デザイン費		¥100,000	1	¥100,000	本事業のためのチラシ、Webサイト製作費
照明費		¥130,000	1	¥150,000	11/15、16の主催公演の照明プラン作成、オペレート費
音響費		¥44,000	1	¥44,000	11/15、16の主催公演の音響技術者謝礼
舞台スタッフ費		¥28,000	1	¥28,000	本事業の補助技術者謝礼
舞台スタッフ費		¥41,000	1	¥41,000	本事業の補助技術者謝礼
大道具費		¥26,644	1	¥26,644	箱 (舞台美術)
衣装費		¥75,240	1	¥75,240	トークショー衣装2着
衣装費		¥23,484	1	¥23,484	舞台衣装10着
印刷費		¥3,730	1	¥3,730	11/15、16の主催公演のチラシの印
印刷費		¥4,110	1	¥4,110	11/15、16の主催公演のチラシの印
印刷費		¥2,750	1	¥2,750	11/15、16の主催公演のチラシの印
印刷費		¥2,000	1	¥2,000	11/15、16の主催公演のチケット印
印刷費		¥5,500	1	¥5,500	11/15、16の主催公演のパンフレット
広報費		¥60,000	1	¥60,000	SNS広告費
広報費		¥40,000	1	¥40,000	広報誌掲載、チケット提供
会場代A		¥92,950	1	¥92,950	11/15、16の主催公演の会場使用料
会場代B		¥59,425	1	¥59,425	リハーサル室使用料
記録映像制作費		¥220,000	1	¥220,000	本事業のための映像制作委託業者料
映像演出		¥220,000	1	¥220,000	本事業のための記録写真委託業者料
外国旅費		¥190,340	1	¥190,340	9/30~10/6までのフランス遠征の
外国旅費		¥63,789	1	¥63,789	9/30~10/6までのフランス遠征の
外国旅費		¥60,123	1	¥60,123	フランス遠征の現地交通費パリ-アヴィニョン往復
海外視察コーディネーター費		¥99,600	1	¥99,600	現地通訳、コーディネーター費用
アルバイト人件費		¥15,000	1	¥15,000	11/15、16のアルバイトスタッフ
ケータリング		¥11,626	1	¥11,626	11/15、16のケータリング
合 計				¥2,515,311	